

かんちゃん通信

令和元年7月5日(金)発行 文責：林 寛

～休園措置について～

今年観測史上最も遅い梅雨入りでしたが、梅雨入りしたとたん雨が続き、九州南部では水害や土砂崩れの被害が出ており、残念ながら亡くなられた方もいらっしゃいます。

7月2日(火)は、すでに配布している5月17日付の配付文書「休園等措置の判断について」に記載しているとおり、朝7時30分の時点で長崎地方に大雨警報が発令されていたため休園を決定しました。

また一昨日の4日(水)は、朝から雨模様でしたが、大雨や洪水に関する警報は出ていませんでしたので、通常通りの保育を行いました。

こういった休園するかどうかの判断については大変難しい面があり、判断を下す私も毎回様々な情報を得て、園内でも相談をしながら決めているところです。

ここで、あらためて保護者の皆様をお願いしたい点があります。

- (1) 5月17日付の配布文書をもう一度読んで、記載内容をご確認ください。
- (2) キッズリーについて。天候不良の朝などは、一斉送信の連絡が園から届いていないかご確認ください。なお、保護者1名だけでなく、複数名の登録をお勧めします。また、キッズリーでは、連絡文書を読んだだけでは、いわゆる「既読」にはなりません。文書画面の下部にある黄色い部分をチェックしてください。
- (3) ご自宅周辺の状況やご家族の事情は、それぞれで違います。幼稚園が通常通りでも登園するかどうかの最終判断は各家庭でお願いします。(5月17日付の配付文書「休園等措置の判断について」の一番最後の箇所を参照)

まだ幼い子どもたちなので体格も小さく、天候不良の中での通園では危険が伴うことも十分考えられます。

どうぞ、無理をなさらず、子どもやご自身の身の安全を第一にお考え下さい。

～ミニ講座～

本園保護者の皆さんや一般の保護者の方々を対象に実施している「ミニ講座」ですが、4日(木)は、教育学部から石川先生をお招きし、特別支援教育の分野から、子育てのヒントになるお話をいただきました。いかがだったでしょうか。

石川先生は、まだお若い先生ですが、多くの先輩教授からも期待されている若手のホープです。私自身も大変勉強になるお話でした。

このように本園では、大学の教育学部の附属機関であるという強みを生かして、様々な分野の専門家である教育学部の先生方のお力もお借りして、保育を進めているところです。

毎年、年長の子どもたちに昆虫のお話をさせていただく、大庭先生は「虫博士」として子どもたちにも有名です。現在、園内にどんな虫がいるのかを調査中で、その中には危険な虫もいるかもしれません。

年度末にまとめられる研究成果は、幼稚園にもいただき、保育を進める上で参考にさせていただきます。